

「建設産業ミライ振興プランHOKKAIDO（素案）」に関する意見の聴取について

1 意見聴取の状況

実施方法	実施期間
北海道建設業審議会 建設産業の振興に関する専門委員会	令和4年10月27日
パブリックコメント	令和4年12月7日～令和5年1月6日
各地方建設業協会への意見照会	令和4年12月12日～令和5年1月6日
建設業における構造改善推進懇談会への意見照会 (専門工事業団体、測量設計業協会等)	令和4年12月12日～令和5年1月6日
北海道建設業審議会	令和4年12月23日

2 意見聴取結果

区 分		提出者(団体)数	意見数
意見等の数	個人	13 人	30 件
	団体	3 団体	12 件
	計	16	42 件

3 反映状況

区 分		意見数
A	意見を受けて案を修正したもの	27 件
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	9 件
C	案を修正していないが今後の施策の進め方等の参考とするもの	6 件
D	案に取り入れなかったもの	0 件
E	案の内容についての質問等	0 件
計		42 件

4 その他

現場の声を聞く意見交換会

- ・実施期間 令和5年1月16日～令和5年1月27日
- ・実施場所 各地方建設業協会管内11箇所
- ・対象者 技術者（女性含む）、技能労働者、事務担当者など63名

区分	A	意見を受けて案を修正したもの
	B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
	C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
	D	案に取り入れなかったもの
	E	案の内容についての質問等

「建設産業ミライ振興プランHOKKAIDO」（素案）に関する意見の聴取について

No.	章	頁・項目	意見等の概要	意見等に対する考え方	区分
1	概要版	1頁	象限表の中で、重点改善項目に「技術を繋げる担い手の確保」の取組項目がありません。今回のプランの一番の重点課題ですので、36番の「市町村に周知」と23番の「産学官連携」を入れ替えた方が良いでしょう。	ご意見のとおり修正しました。	A
2	概要版	1頁	左側の「建設産業の現状」の欄で、③や⑤の表記がある。字数や字のポイントの事情からか、年度のことではないかと推測はできるが、R3、H25の方が分かりやすい。	ご意見のとおり修正しました。	A
3	本編第2章	5頁 (3)道内建設業売上高営業利益率	出典の記載方法について、各年度のデータは「平成27年度までは前年10月分～当年9月分の集計」、「平成28年度からは前年4月分～当年3月分の集計」と変更となっているので表記を検討願う。	ご意見を踏まえ修正しました。	A
4	本編第3章	14頁 2客観的指標評価	道内建設業売上高営業利益指標値の状況のコメントで、「H28～H30は全国を下回っていたが、R3は上回っている」とあるが、他の指標表現と比較すると「R2から上回る」という表記が良い。	ご意見のとおり修正しました。	A
5	本編第4章	20頁 2北海道建設業審議会意見	「◆雪解け後の、6月の天候の安定した時期に実働する現場が少ない。」について、春期の雇用の確保に関することであるため、「6月」ではなく「4月から6月」に修正していただきたい。	ご意見のとおり修正しました。	A
6	本編第4章(概要版)	21頁 建設産業の現状	図中の年度表記⑤や③をH25やR3の表記へ修正。	ご意見のとおり修正しました。	A
7	本編第4章	21頁 建設産業の現状	表記③、⑤については、素案<概要版>と同様の考えで修正した方が分かりやすい。	ご意見のとおり修正しました。	A
8	本編第4章	21頁 イメージ(3本柱の連携・連環)	「建設産業の担い手を育成」に取り組む余裕がある企業を増やすためには、「利益を上げる ⇒ 好条件で若い技術者を雇う ⇒ 戦力となる若い技術者がいることで人手不足解消&若い力でIT化を進めて働き方改革に対応 ⇒ 利益がさらに向上する」といった循環を確立することで対応できると考える。	案と同様の趣旨	B
9	本編第5章	22頁 施策と取組	目標1～目標3までの施策あるいは取組項目で、「他の施策・取組項目に波及効果が期待できるもの」、「社会的要請の高いもの」、「費用対効果の高いもの」で優先的に取り組むものを選んで順位付けをしてはどうか。	重点課題である「建設産業の担い手の確保及び育成」の解決に向けた「働き方改革」、「生産性の向上」、「魅力の発信」の3つの柱は、相互に関連し連動しており、それらを推進する各施策、各取組項目も同様であることから、順位付けはしていませんが、ご意見は今後の参考とさせていただきます。	C

区分	A	意見をを受けて案を修正したもの
	B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
	C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
	D	案に取り入れなかったもの
	E	案の内容についての質問等

「建設産業ミライ振興プランHOKKAIDO」（素案）に関する意見の聴取について

No.	章	頁・項目	意見等の概要	意見等に対する考え方	区分
10	本編第5章	23頁 取組項目2	建設産業における長時間労働の是正や休日の確保を着実に推進するためには、国・道・政令指定都市以外の市町村、さらには民間工事も含めた全ての発注者が理解し、取り組まなければならないことから、市町村工事や民間工事などの発注者への周知が重要である。	ご意見を踏まえ、民間発注者への働きかけについて追記しました。	A
11	本編第5章	23頁 取組項目2	市町村及び民間発注者に対しても、関係機関と協力の上、適正な工期の設定を行うよう働きかけをすべき。	ご意見を踏まえ、民間発注者への働きかけについて追記しました。	A
12	本編第5章	23頁 取組項目2	適正な工期の設定等は発注者の理解が必要であることから「発注者」の言葉を明示するという趣旨から、冒頭に「受発注者間において（工期や委託期間～）」を入れていただきたい。	ご意見を踏まえ、「発注者及び受注者は」と追記しました。	A
13	本編第5章	24頁 取組項目1	賃金水準確保・処遇改善・労務単価の実勢単価反映、必要経費の反映などについて早急に進めるよう要望する。	案と同様の趣旨	B
14	本編第5章	24頁 取組項目2	市町村の発注工事では、工事発注後には設計コンサルタントは関与しないケースが多く、土木設計の変更などを建設業者が行うことになるため、受注者の業務量が増え長時間労働や休日の確保に影響している。	ご意見を踏まえ、「三者検討会」の市町村への周知や設計変更に関する事務処理の見直しの検討について追記しました。	A
15	本編第5章	24頁 取組項目2	担い手確保・育成を効果的かつ安定して行うため、働き方改革や生産性向上を推進するには、企業として適切な利潤を確保可能な予定価格の積算や設計変更の柔軟な対応が重要であるとともに、工期や経費等の計上が必要であるため、積算や工期設定などで抜本的な見直しを要望する。	ご意見を踏まえ、予定価格の適正な設定や設計変更に関する事務処理の見直しの検討について追記しました。	A
16	本編第5章	25頁 取組項目1	ダンピング対策では、道内市町村の目標達成度が極めて低い状況であることから、早急に取り組むべきと考えられ、「周知」以上の実効性のある取り組みが求められる。	ご意見を踏まえ、課題等の把握や国と連携した取組の検討について追記しました。	A
17	本編第5章	25頁 取組項目3	国交大臣、総務大臣より、地方公共団体の発注する公共工事の施工に当たって、広く受注者等によるCCUSの利用が進められるよう取り組みを進めるよう通達されており、北海道発注工事についても、関係団体の理解を得ながら、引き続きCCUSモデル工事の導入を進めるとともに、併せて、「市町村に対してもCCUSモデル工事の導入を働きかける」といった趣旨をプラン本文に記載することを検討願う。	ご意見を踏まえ、モデル工事の試行内容の拡大や市町村への周知について追記しました。	A
18	本編第5章	25頁 取組項目4	適切な施工体制や不適格業者の排除に向けては、安全パトロールや下請状況等調査などの実施、契約トラブルの相談等が重要。	案と同様の趣旨	B

区分	A	意見を受けて案を修正したもの
	B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
	C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
	D	案に取り入れなかったもの
	E	案の内容についての質問等

「建設産業ミライ振興プランHOKKAIDO」（素案）に関する意見の聴取について

No.	章	頁・項目	意見等の概要	意見等に対する考え方	区分
19	本編第5章	26頁 施策1	施策1の取り組みは生産性向上への効果が高いものであることが望ましいため、人材育成などは施策2に整理した方が良いのではないかと。また、経費節減などは別な側面として整理した方が良いのではないかと。	今回のプランは、柱や取組項目などを絞り込むことを特徴として、目標をしっかりと定め、重点課題である「建設産業の担い手不足」の解決に向け取組を展開していくこととしています。3つの柱、それらを推進する各施策、各取組項目については、相互に関連し連動していることから、主に関連すると考える目標や施策に位置づけて整理しています。	C
20	本編第5章	26頁 取組項目1	ICT人材育成（講習）で初級・中級・上級の分けやWEB開催、参加者のCPDS取得など、人材育成制度の充実を要望する。	ご意見を踏まえ、研修会などの充実を図ることについて追記しました。	A
21	本編第5章	27頁 取組項目3	構造物は経済断面として複数断面で設計されるが、積雪寒冷地では複数断面が段取りや手間が掛かるなど生産性低下につながることから、構造物は同一断面で設計するよう要望する。また、プレキャスト化の一層の推進も併せて要望する。	ご意見を踏まえ、構造物の単純断面化について追記しました。	A
22	本編第5章	27頁 取組項目3	コンクリートのひび割れは橋梁点検以外にもあり、ドローン点検は海岸施設以外でも適用されていることから、ドローンを使用した点検成果が「3次元測量」という表現に違和感あるため、「橋梁や海岸施設等の点検において、ドローン等新技術の導入により現場作業を軽減し、その撮影画像をAI（人工知能）解析することで、コンクリートのひび割れを自動検出するなど、デジタル技術を活用した公共土木施設の維持管理の効率化を図る」といった表現の方が適切。	ご意見のとおり修正しました。	A
23	本編第5章	28頁 取組項目2	人材の確保は種々の要素をバランスよく行っていくことが必要と思われ、タイトルは「外国人など」を外した「多様な人材の受け入れ・確保」が良いのではないかと。そのままの記載であれば、はじめに外国人材の活躍から記載してはどうか。	道では、知事を本部長とした人材確保対策推進本部員会議を設置し、全庁を上げて人材確保に取り組んでおり、この度、国の出入国在留管理庁で有識者会議に全国で唯一の知事として参加することが決まるなど、道としての重点施策の展開なども考慮し、具体事例として「外国人など」を表記しています。なお、ご意見を踏まえ、外国人材の活躍からの表記とします。	A
24	本編第5章	28頁 取組項目2	多様な人材の確保は、担い手不足に対応するため、生産性向上との両輪で進めていかなければならない課題と考える。障害者、女性や外国人材の受け入れなどは、生産性向上への効果はニュートラルだと思うので、目標2ではなく目標3に別施策を立て「担い手をつくる」取組として、情報発信の中で総合的に進めた方が良いのではないかと。	今回のプランは、柱や取組項目などを絞り込むことを特徴として、目標をしっかりと定め、重点課題である「建設産業の担い手不足」の解決に向け取組を展開していくこととしています。3つの柱、それらを推進する各施策、各取組項目については、相互に関連し連動していることから、主に関連すると考える目標や施策に位置づけて整理しています。	C
25	本編第5章	28頁 取組項目4	専門職学科の卒業生以外を技術者として育成した場合の経営事項審査や総合評価への加点などの配慮を要望する。	案と同様の趣旨	B

区分	A	意見をを受けて案を修正したもの
	B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
	C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
	D	案に取り入れなかったもの
	E	案の内容についての質問等

「建設産業ミライ振興プランHOKKAIDO」（素案）に関する意見の聴取について

No.	章	頁・項目	意見等の概要	意見等に対する考え方	区分
26	本編第5章	29頁 背景・課題、取組項目1	道内の建設業の利益率は大きく躍進しており、その要因に関わる事例などについて情報発信を強化することは、経営力・生産性・技術力向上のそれぞれのビジョンを示し、事業者に対して事業の改善や改革について動機付けを図ることが推測される。今後も情報発信は重要であり、特に売上高営業利益率向上の数値に表れた指標について打ち出していくことがシンボリックでもあり目標設定の上でも必要だと考える。	ご意見を踏まえ、売上高営業利益率の改善や現在の建設産業の魅力の具体例について追記しました。	A
27	本編第5章	29頁 取組項目1	建設産業での技術力向上に関する講習や監理技術者や経理事務士などの免許更新費用や手続きに関する業務が、他の産業に比べ多く課題となっている。	ご意見は、建設産業の実情として参考とさせていただきます。	C
28	本編第5章	29頁 取組項目2	魅力発信の取組みで使用する写真等は、「北海道の建設業」というイメージに合う雪の画像、除雪の画像を使用した方が良い。	ご意見のとおり修正しました。	A
29	本編第5章	29頁 取組項目3	テレビのニュースで、釧路地区で開催された建設業のクイズ大会が取り上げられ、出場した高校生が「建設産業にたいへん興味をもった」と発言をしたところを視聴したが、重点課題である担い手の確保・育成に対するこのような取組を積極的に行っていくことを期待する。	案と同様の趣旨	B
30	本編第5章	30頁 取組項目1	小・中学生の子を持つ親子を対象にした建設産業の魅力アップイベント等を行い、幅広い世代に建設産業の必要性や魅力を理解して頂き、まずは工業高校への進学を促進させ、将来的に建設産業への就職へ繋がられる取組が必要。	案と同様の趣旨	B
31	本編第5章	30頁 取組項目1	道内で働きたい若者は増えていると思われ、小学校や中学校にビルや道路、橋を作ることの必要性や魅力や甲斐などを出前授業などによって教育の場で伝えて頂きたい。	案と同様の趣旨	B
32	本編第5章	30頁 取組項目4	北海道で働くことの魅力を他の都府県へ積極的にPRし、北海道へ就職してもらう活動を要望する。	ご意見を踏まえ、北海道で働くことの魅力や成長性のPRについて追記しました。	A
33	本編第5章	31頁 取組項目3	地元の企業が魅力的な企業になるためには、今後はICTを活用していくことが必須になっていくと思われるので、若い人の声を聞いて取り入れていくことが重要。	案と同様の趣旨	B
34	本編第5章	—	人材育成のケースとして、若い大工を入植して直ぐに現場に連れて行くと1週間も経たずに辞めていくが、1ヶ月程度、現場ではなく会社の方で研修を行ってから現場に出すと辞めずに残っている。また、以前は親方が勧誘して多少無理をして入職させていたが、今は学生のうちに1週間程度のインターンに来てもらう方法に変えてから、辞める若者は減っている。	ご意見は、現場の現状に即した貴重な情報として、働き方改革の効果的な進め方や担い手の育成を検討する上での参考とさせていただきます。	C

区分	A	意見を受けて案を修正したもの
	B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
	C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
	D	案に取り入れなかったもの
	E	案の内容についての質問等

「建設産業ミライ振興プランHOKKAIDO」（素案）に関する意見の聴取について

No.	章	頁・項目	意見等の概要	意見等に対する考え方	区分
35	本編第5章	—	外国人は我が町でも十数名が就労しており人手の確保という面では重要。また、市町村に対する周知等は、市長会や町村会で集まる場にて、その機会を捉えて周知するのが効果的なので周知方法等も検討願いたい。	ご意見は、周知方法等を検討する上での参考とさせていただきます。	C
36	本編第6章	32頁 1 推進体制と進捗管理	グラフ中の「地域平準化率」や「道内新規高等学校卒業者の平均就職内定数」などの指標は大変重要なもの。その定義がP14などにあるが、再確認しようとすると探すのが大変なことから、再掲するなど検討した方が良い。	ご意見を踏まえ、第6章の1に用語の定義を追記しました。	A
37	本編第6章	32頁 1 推進体制と進捗管理	PDC Aサイクルは、即応性が低く官僚的なプロセスであり、「評価」及び「改善」の部分では組織内で時間をかけずに結論を出すことが大切だと考えるため、機動的に改善、計画見直し・実行につなげ、改善しながら取組の質を高めていく方式を採用するべきと考える。	ご意見を踏まえ、PDC Aサイクルに加え即応性のある手法について追記しました。	A
38	本編第6章	33頁 2 持続可能な開発目標	ターゲットは少し詳細過ぎるので、ゴールと施策の関係だけでも良いのではないか。	ご意見のとおり修正しました。	A
39	本編全般	—	本プランの素案は現プランを評価・検証し、建設産業を取り巻く現状を踏まえた上で、重点課題の「建設産業の担い手の確保・育成」について体系的かつ具体的に目標を設定し、施策と取組を策定している。	案と同様の趣旨	B
40	資料編	2頁 3 状況 正社員の採用	グラフ下欄にコメントがあり、「資本金1千万円未満では7割以上が予定どおりの採用ができない状況」とあるが、グラフでは8割以上が予定どおり採用ができない状況のようみ見えるので、7割を8割に修正した方が良いのではないか。	正社員を「採用をしなかった社」を除き、採用しようとした社を分母とした場合に予定どおり採用出来なかった社の比率を表現しており、資本1千万円以下では73%程度が予定どおりの採用が出来なかったことから「7割以上が」と記載しています。なお、7割以上と分かるようグラフに追記修正しました。	A
41	資料編	4頁 (1)地方建設業協会	インフラ教育や体験授業の記載で具体的な実施する内容が見えないため、各団体のイベント事例を参考として情報提供した方が良い。	ご意見を踏まえ、事例を表記するなど修正しました。	A
42	資料編	17頁 ダンピング対策実施割合 12頁 施工時期の平準化率	ダンピング対策実施割合のグラフは、小数点で表しているが、百分率(%)の方が分かりやすいので修正してはどうか。	ご意見のとおり修正しました。また、同様の趣旨から、資料編12頁の「施工時期の平準化率」についても修正しました。	A